

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 135号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2013年12月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

25年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
12月	14日「環境街づくり」発表 21日 森林公園で活動紹介	21日 保全活動	8日神社手洗い湧水補修 19日大坂ふれあいの森保全	
26年 1月	19日日曜地ハイと共催「白子湧水群の地層・地形と白子宿歴史」	18日保全活動	9日モニ1000里地調査 16日大坂ふれあいの森	15日県モニタリング提出

1. 和光市民祭り盛況 2013年11月10日(日) ガイドマップ3種勢揃い

本年も「和光市民祭り」で「自然の素材を使って物づくり体験」コーナーを設けました。新倉の竹、大坂のムクロジの種を使って物づくり、いろんな木の実の博物館も見ごたえがありました。

ムクロジビーズで作るオリジナルのブレスレットに人気集中、参加者の輪が終始尽きることなく大盛況でした。約1500個のムクロジビーズが使われ、およそ150



人の方が制作を楽しみました。松本市長も立ち寄って下さいました。竹切り体験も、青竹に魅了されて、大人も子供も制作し持ち帰りました。湧き水パネルの前では、白子の湧き水を知っている方々の湧き水談議に花が咲きました。和光の自然、湧き水を残そうとの会の活動が、心に残るものを伝えていることを実感しました。

2. ちいき散歩・坂下公民館から新倉ふれあいの森周遊 11月19日(火)



地域の自然を再発見、健康増進にも役立てようと坂下公民館主催の「ちいき散歩」に協力し、企画、ガイドを行いました。都市化の進む中、残された緑や谷戸風景、新倉ふれあいの森や越戸川を散歩する新

コースでした。地元の方々が地域を歩いてみようとして参加してくれました。
コース・坂下公民館—半三池跡方面—新倉ふれあいの森—越戸川—
—東光寺—天神ヶ谷戸—公民館



3. 和光市・湧き水研修会 (NPO 自然観察指導員埼玉主催) 12月1日(日) (会報134号報告)

高橋勝緒氏が講演「和光の自然—地質と植物の関連」しました。その後和光のモニ1000里地(水環境、植物相)調査にうつりました。午前には富澤湧水の地層見学、水環境、植物相調査。水量は約60ℓ/分の場所が4、5か所あり、湧水量があまり変わりません。植物相では、専門の牧野先生を中心にモニタリングされ記録していきましました。午後は大坂ふれあいの森で、3つの景観タイプ毎のコースで植物相調査が行われ、皆さんの熱心な調査で同定が難しいシダ植物についても次々と明らかにされました。小峯代表、牧野副代表のご協力、湧き水の会の「湧き水のお茶」のサービスも加わり、熱のこもった研修会となりました。今後進められる予定の、県の事業の参考にもなるのではないかとのお話でした。

